

もっと！  
あたらしい本



学校司書をしていると「かつては文学少女だった」と思われることが多いのですが、実際は運動系のクラブにずっと入っていたし、読書量そのものは「普通」程度だったと思います（すみません？）。ただ思い返すと周囲は常に本好きが多い環境でしたね。面白そうな本の情報が半自動的(?)に入ってくるので、「文学」(9類の本)については友人・知人から知った本がメインでした(今でも重要な情報源です)。結構ハズレなし。みなさんはどんな方法で本を選んでいきますか？

この臨時号ではスペースがなくて後回しにしていた新着本の紹介をします。国語の教科書で紹介される本も入ってきています。

『もうひとつの屋久島から』 291夕

武田剛/著 フレーベル館



1993年に世界遺産に登録された屋久島は、その11年前まで島のいたる所で広大な原生林が伐採されていた事実があった…。屋久島の過去・現在・未来に迫るドキュメンタリー。

『ガマ 遺品たちが物語る沖縄戦』 219ト

豊田正義/著 講談社

幼い子も巻き込まれた最悪の地上戦で、避難のために入ったガマ(自然の洞窟)から掘り出された遺品たち…。家族にまつわる人生の物語。

『データブックオブ・ザ・ワールド 2021』 350テ

二宮書店

世界のすべての独立国・地域の最新データを網羅。自然環境、人口・都市、エネルギーなどの統計資料編と、世界各国編の2部構成。

『子どもを守る言葉「同意」って何?』 368ブ

レイチェル・ブライアン/著 集英社

あなたの意思に対して相手からYESを貰えないときにキッパリ止めることはとても重要。暴力やいじめから自分を守り、人を傷つけないために「同意」の大切さを考えよう。

『講談社の動く図鑑 MOVE』 講談社

美術の時間などで案外活躍する図鑑。新しいものが入りました。

『植物』 470シ 天野誠/監修

『昆虫』 486コ 養老孟司/監修

『魚』 487サ 福井篤/監修

『は虫類・両生類』 487ハ 矢部隆/監修

『鳥』 488ト 川上和人/監修

『動物』 489ド 山極寿一/監修



『クジラのおなかからプラスチック』 519ホ

保坂直紀/著 旬報社



このままだと海の魚の重量を上回ると言われるプラスチックごみ。その実態は? 人体への影響は? 日本の対策は? 問題の最前線を伝える。

『超高層ビルのサバイバル 1』 526チ

ポップコーンストーリー/文 朝日新聞出版

摩天楼タワーを訪れたジオたち。社長の案内で超高層ビルのあちこちを見学していたら…。みんな無事に地上に降りられるのかな!? 楽しく読めるサバイバル科学漫画。

『最強の家ラーメン』 596オ



おうち麺TV./著 宝島社

ラーメン作りの動画で人気のYouTuberが厳選レシピ15を紹介。行列ができるラーメン店の味を再現できるかな?(味玉美味しそう♡)

『めづめづ和文化研究所京都』 790オ

おくりさおり 小栗左多里/著 KADOKAWA

伝統の作法、お寺と町家、京の暮らし…。さおりとトニーが、いにしえの都で学んだ「和のココロ」とは? 日本の歴史と伝統、そして今の姿がわかる、知的好奇心を満たす一冊。

『【図解】まるわかり時事用語 2021→2022年版』

814ズ ニュースリテラシー研究所/編著 TOブックス

日々のニュースに出てくる新しい言葉や重要なトピックを、国際・政治・経済などの8つのジャンルに分類し、わかりやすく解説。

『描き込み式色鉛筆ワークブック』 725カ

かわい  
河合ひとみ/著 誠文堂新光社

塗り絵のようにそのまま描き込めるワークブック。色の重ね方、立体感の出し方、素材の表現など、章が進むごとにレベルアップ。



『超色鉛筆画レッスン』 725ヤ

やながかずゆき  
弥永和千/著 メイツユニバーサルコンテンツ

色鉛筆でもここまでリアルに描ける! 道具の選び方から描き方の基本、混色テクニック、構図や手順を理解して、質感溢れる絵を目指せ!

『描き込み式 いちばんていねいな、色鉛筆レッスン』

725ヤ

弥永和千/著 日本文芸社

色鉛筆画の専門的な技法をマスターできるテキスト。山林、リボン、大きな花、ボトルメールなど、様々なモチーフを取り上げて解説。

『線一本からはじめる伝わる絵の描き方』 725セ

OCHABI Institute/著 インプレス

絵の描き方を「論理的に」学べるレッスンの教科書。線の描き方から平面的な絵、人物などの描き方や情景の描き方まで、丁寧に解説。

美術科N先生ぐいせんご推薦の本です。  
ちょっとしたコツを掴むだけで  
納得の作品ができあがるかも♪



『日本語擬態語辞典』

814ゴ

こみ  
五味太郎/著 講談社



「くるくる」と「ぐるぐる」はどう違う? 欧米語の3~5倍もある擬態語を私たちは使いこなしている。文法的に扱いが難しいこの言葉を、あえて学者でない絵本作家が楽しくまとめた本。

『神さまがくれた漢字たち』

821ヤ

山本史也/著 新曜社

中国の古代の人々の自然や社会に対する切実な思いが込められている漢字。その独特の考え方に触れながら漢字の成り立ちなどについて紹介。

『夜と霧』

946フ

ヴィクトール・E.フランクル/著 みすず書房

第二次世界大戦のドイツ強制収容所。ごく普通の収容者として内側を「体験」した心理学者が、人間の偉大さと悲惨ひさんを伝えるロングセラー。



『地底旅行』

953ペ

ジュール・ヴェルヌ/作 偕成社

謎のルーン文学を手がかりに、地球の中心への冒険旅行に出かけることになったリデンプロック教授と助手のアクセルの活躍を描く。『海底二万里』『二年間の休暇(タイトルは『十五少年漂流記』と訳されることもあります)』で有名なヴェルヌの作品。

『わたしと小鳥とすずと』

911カ

金子みすゞ/著 JULA 出版局

大正末期に優れた童謡詩人として注目されながらも天逝ようせいした金子みすゞ。その作品から60編を選出し、旧仮名遣い・旧漢字を改めた、美しい装丁の童謡集。

『いつの空にも星が出ていた』

913サ

佐藤多佳子/著 講談社

高校の先生、家業を継いだ若者、少年野球のピッチャー、洋食店のシェフ…。一見繋がりのない人たちを結び強くてまっすぐな気持ちを描く。



『津軽』

913ダ

ださいおさむ  
太宰治/著 新潮社

久しぶりに故郷に帰ることになった主人公が懐かしい人々と再会する…。『走れメロス』『人間失格』で有名な太宰治の自伝的小説。

『メイデーア転生物語 1』

913コ

ゆうまみどり  
友麻碧/著 KADOKAWA

マキアの幼馴染みのトールが異世界から来た「救世主の少女」の守護者に選ばれた。トールと離れ離れになったマキアは、再び彼と会うために最高峰の魔法学校を目指す…。2もあります。



『呪術廻戦 逝く夏と還る秋』

913キ

あくだみげげ  
芥見下々/原著 集英社

人気コミックのノベライズ。里桜高校での事件後、虎杖はある呪いに悩む少年と出会う…。5編の短編を収録。小説第2弾「夜明けのいばら道」も図書館に入っています。

『小説版 この世界の楽しみ方』

913コ

HoneyWorks/原案 KADOKAWA

第一印象は最悪だった勇次郎と愛蔵。だけど2人でユニットを組んでデビューすることになり…。昨年12月公開映画のノベライズです。

